

〈東出昌大コメント〉

電車に乗って、暇潰しに携帯を出す。いつも通り、くだらないニュースにため息をついて顔を上げると、周りの人達も無表情に、しかし熱心に携帯を覗き込んでいる。そんな光景に、ふと、違和感を覚える。

友人と食事をする。22時。お酒を飲んで朗らかに笑っていた彼は、卓上で震える携帯の画面に上司の名前を見つけ、酔いを冷まそうと必死に水を飲んでから、緊張の面持ちで電話に出る。そう言えば、昨日のロケ弁の中身が何だったのか、明瞭に思い出せない。あの揚げ物は豚だったのか、牛だったのか。冷えてて固そうだったから、食べずに捨てた。「便利になってる筈なのに、何か縛られている気がする。けど、何が問題の根源かなんて、一々考えてる暇はないんだ」と、また手の中に光る液晶画面に視線をやり、何か有益な情報は無いかと、無益な時間を過ごす。

11月、東京に54年ぶりの雪が降った日、旅に出た。何泊なのか、どこへ行くのかも分からない。

与えられたテーマは「感じる」

人と出会い、様々な出来事を通して、感じ、考えた。人間を考え、先人を考え、自分を考え、日々を考えた。

「若手俳優の写真集だろ」と拒否反応を示さずに、書店で見かけたら、是非手に取ってやって下さい。めくってみて下さい。田附勝さんが撮影した一枚一枚の写真を、「見る」ではなく、「読もう」として見て下さい。

この写真集が、僕と同じ様に、閉塞感や焦燥感を覚える日々を過ごす人にとって、何かを考えるきっかけになればと。その先でちょっとでも楽になってもらえればと。心から思います。

〈田附勝コメント〉

8日間で『何か』感じられる日々であれば僕はそれでいい。俳優であり、一人の男としての東出昌大が、こんな8日間で成長するとも思わない。僕であっても、長い間、様々な古層を掘り起こす様々な写真の旅で……、成長なんてことは簡単に言えない。『何か』というものを突きつけられ、生きていかなければならないという事がはっきりすればいい。みなさんにもそういうちょっとした緊張感で見ていただけると良いのではないだろうか。

〈町口覚コメント〉

“頭で考えるな、身体で掴め”
僕はこの写真集をつくるにあたり東出昌大に伝えた。
“わかりました”
彼はしっかりとうなずいた。
“残るものをつくらう”
僕は決意した。
あるとき、田附勝から「これから東北を写し撮る」と聞いた。
“やめておけ、あそこは厄介だ”
という僕の言葉など意に介さず、田附は東北を撮り続けた。
あれから10年、ようやく東北というものを
田附は掴みつつあるような気がした。
いまならできるかもしれない。
俳優の東出昌大と一緒に北を巡る旅をしたいと持ちかけた。

田附は見事に鍵となる人物と僕らを繋いだ。
彼らは全員、生命がなんたるかを知っている男たちだった。
もうひとつ東出昌大に伝えた。
“旅のあいだ日記を書いてくれ”
書くことにより感じたことが身体化されていく。
強度を持った東出の“言葉”が
縦横無尽な田附の“写真”と拮抗したとき、
どんな深度をもつだろう。
どれだけ光を放つだろう。
答えの出ない答えを求めての旅だった。
東出昌大は、そして僕たちも、
何度もこの写真集を開きながら考えるだろう。
命とは、生きるとは、生かされるとは。

写真展

雪は西からやって来る

東出昌大

町口覚

田附勝

〈写真展〉

会期：2017年7月27日(木)ー9月10日(日)
会場：ニュー・グリーンピア津南 2Fロビー
入場無料

〈記念トークショー〉

[写真家・田附勝 × デザイナー・町口覚
× 津南町教育委員会 苗場山麓ジオパーク推進室長・佐藤雅一]
日時：2017年8月19日(土) / 17:00ー
会場：津南町 農と縄文の体験実習館「なじゅもん」
入場無料・要申込



旅の日程：2016年11月26日(土) AM 4:00

→ 2016年12月1日(木) PM 9:00

旅の仲間：東出昌大 田附勝 町口寛 麻生裕貴 ドライバー

旅の車：白のハイエース

旅の走行距離：2000km

旅の日課：コンビニじゃんけん

旅のお守り：スタイリスト・伊賀大介の手づくりストール

*写真集に最多登場

- ❶ 雪山(群馬県利根郡みなかみ町)
- ❷ 龍ヶ窪・沖ノ原遺跡・見倉大柝
農と縄文の体験実習館 なじよもん(新潟県中魚沼郡津南町)
- ❸ 鼠ヶ関(山形県鶴岡市)
- ❹ 羽黒山(山形県鶴岡市)
- ❺ 大勝漁船(宮城県本吉郡南三陸町)
- ❻ 大久喜漁港(青森県八戸市)



東出昌大(ひかして・まさひろ) / 俳優

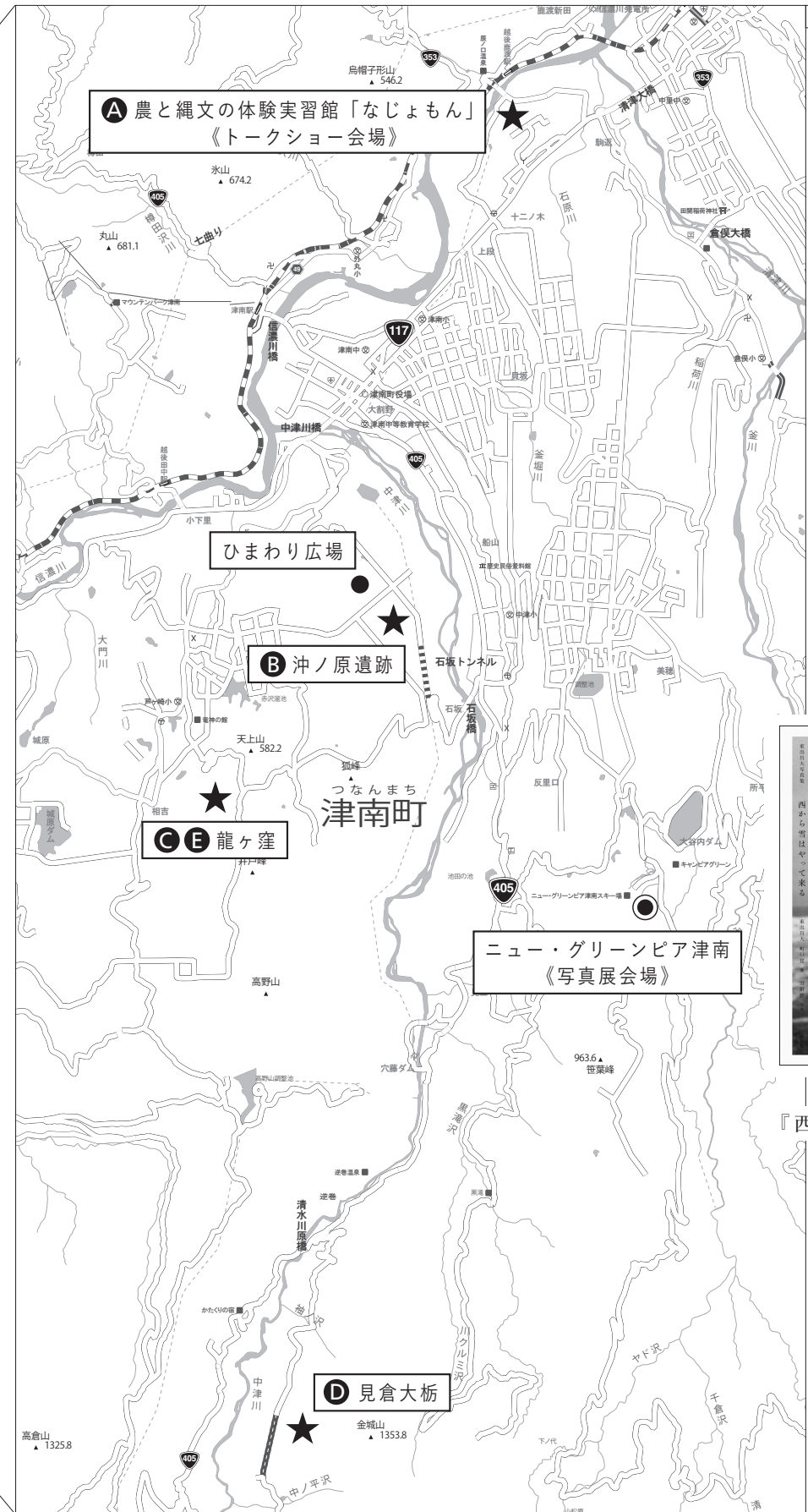
1988年埼玉県生まれ。2012年に映画「桐島、部活やめるってよ」で俳優デビュー。同作で第36回日本アカデミー賞新人俳優賞などを受賞。翌年、NHK連続テレビ小説「こちそうさん」で注目を集める。近作に映画「クリーピー 偽りの隣人」「デスノート Light up the NEW world」「聖の青春」「はくは明日、昨日のきみとデートする」ほか。NHK放送90周年を記念し製作され、三年にわたり放送される大河ファンタジー「精霊の守り人」シリーズにタンダ役で出演中。待機作に、原田真人監督の映画「関ヶ原」(2017年8月26日公開予定)など。

田附勝(たつき・まさる) / 写真家

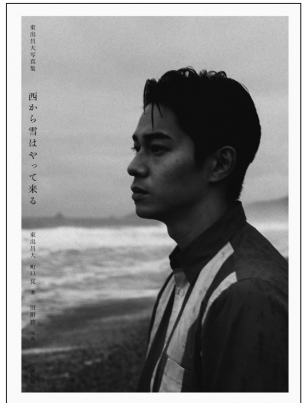
1974年富山県生まれ。1995年よりフリーランスとして活動を始める。2007年、デコトラとドライバーのポートレートを9年にわたり撮影した写真集『DECOTORA』(リトルモア)を刊行。06年より東北地方に通い、東北の人・文化・自然と深く交わりながら撮影を続ける。11年写真集『東北』(リトルモア)を刊行、同作で第37回木村伊兵衛写真賞を受賞。写真集『その血はまだ赤いのか』(SLANT、12年)、『KURAGARI』(SUPER BOOKS、13年)、『おわり。』(SUPER BOOKS、14年)、『魚人』(T&M Projects、15年)ほか。

町口寛(まちぐち・さとし) / グラフィックデザイナー・パブリッシャー

1971年東京都生まれ。デザイン事務所「マッチアンドカンパニー」主宰。森山大道、蛭川実花、大森克己、佐内正史、野村佐紀子、荒木経惟などの写真集をはじめ、映画・演劇・展覧会のグラフィックデザイン、文芸作品の装丁などを幅広く手掛け、常に表現者たちと徹底的に向き合い、独自の姿勢でものづくりに取り組んでいる。2005年、自社で写真集を出版・流通させることに挑戦するため、写真集レーベル「M」を立ち上げると同時に、写真集販売会社「bookshop M」を設立。2008年より世界最大級の写真の祭典「PARIS PHOTO」にも出展しつづけ、世界を視野に「日本の写真集の可能性」を追求している。2009年・2015年に造本装幀コンクール経済産業大臣賞、2014年東京TDC賞など国内外の受賞多数。



津南町周辺 撮影地 MAP



東出昌大写真集 『西から雪はやって来る』

写真：田附勝
言葉：東出昌大
造本：町口寛
判型：174 x 237mm (B5判変型)
頁数：224頁
写真点数：138点
並製本
発行所：宝島社
本体価格：2,980円+税

© 2017 Masaru Tatsuki
© 2017 humanité Co., Ltd.
© 2017 MATCH and Company Co., Ltd.
ISBN978-4-8002-6062-8